あしたば

令和8年11月16日発行
現在会員数　256名
男性　137名
女性　119名
（R8．10．31現在）
題字：雨宮博雄

編集・発行　公益社団法人八丈町シルバー人材センター
〒100－1401　東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
TEL．04996－2－4666　　FAX．04996－2－5355　　E-mail　hachijo@sjc.ne.jp
URL．https://www.sjc.ne.jp/hachijo/

理事会開催報告　10月22日（木）午前10時から、八丈町役場大会議室において「第5回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

1　承認事項

1）会員の入退会について

入会1名退会2名について承認

2）諸規程の一部改正について

職員就業規則の一部を改正する規則について
準職員就業規則の一部を改正する規則について
事務費規程の一部を改正する規程について
職員の採用に関する規程の一部を改正する規程について
公益充実資金等取扱規程の策定について
職場におけるハラスメントの防止に関する規程の一部を改正する規程について
コンプライアンス遵守規程の一部を改正する規程について
会員のハラスメント防止に関する基本方針の一部を改正する基本方針について
その他の規程の語句修正等について原案どおりすべて承認

2　報告事項

1)令和8年9月の事業実績について

大雨による各施設の休止により管理群は減、実績が伸び止まりと報告

2)職務執行状況報告書について

会長・副会長・常務理事の4～9月までの職務執行状況について報告

3)第2回広報委員会について

9月15日開催の内容について報告

3　その他

1)ハウスクリーニング講習について

ハウスクリーニング講習実施について説明

2）温泉事業について

温泉就業会員への再確認事項文書について



ハウスクリーニング講習

令和８年１０月２６日（月）（公財）東京しごと財団シルバー講習担当係の大平裕介氏と講師の松尾育年氏・山田博一氏の３名が来島され、２７日（火）１０時～１５時まで三根公民館にてハウスクリーニング講習を開催いたしました。

８名の会員が参加し、午前の座学では洗剤の使い方、午後の実習では窓の清掃方法などを学びました。受講会員から「とても勉強になる」と感想をいただきました。

「厚手の雑巾を使用している人も多いが、プロは衛生面と使用感からフェイスタオルをそのまま折りたたみ汚れた面を返しながら使用している」「雑巾も絞り方によって用途が変わることや専用洗剤を使わなくてもバケツの水に中性洗剤を少し垂らすことでキレイになり二度拭きもいらない」など教えて頂きました。





≪八丈町 SC 就業標語≫

怠るな　確認ひと手間　身の安全

生きがいは　自分でつかめ　年じゃない



配分金支払証明書について

令和８年１～１２月までに就業された分の「配分金支払証明書」は１月中旬から会員クラウドサービスでご覧いただけます。

※**住所を記載する**ため転居等の連絡をされていない場合は必ずご連絡ください。

２月にお送りする配分金明細書または会報に同封いたしますが、早めに必要な方は個別対応しますので、事務局までご連絡ください。☎２－４６６６

資料館のお宝（９４）

「琵琶湖畔に眠る近藤重蔵を訪ねて」（２）

【前回のあらすじ】

『八丈実記』の著者近藤富蔵の父近藤重蔵は、歴史教科書にも載る幕末の北方探検家だった。身分の低い御家人、御先手鉄炮組与力の家に生まれたが、若くして学才が認められ、長崎奉行所与力を経て関東郡代手附出役として蝦夷探検にかかわること数度に及んだ。蝦夷地を預かる松前藩が藩の利益を優先する支配を行おうとするのに対し、重蔵は蝦夷を直轄領として幕府の責任でアイヌの生活向上を図りながら開発をすすめる政策を提案したが、幕府上層部の方針転換により対蝦夷政策から排除されてしまった。一方、将軍から「永々御目見以上」が認められ、近藤家は念願の世襲の旗本となった。

転落　書物奉行から大坂御弓奉行へ　1808年（文化5）2月、重蔵は御書物奉行を命じられた。外交文書整理のため、関係資料に詳しい重蔵を起用したともいわれるが、未開地の踏破に明け暮れた重蔵には「寂しい窓際」だったことだろう。紅葉山文庫の史料を活かした著作の数々は、今では国の重要文化財になっている。しかし、しだいに周囲が眉をひそめるような行動が多くなると、老中水野忠成は「元もと身分の低い小者であったが、若年寄堀田正敦に抜擢され、政道に口出しを始めた『不届き者』」と、19年（文政2）2月に重蔵を大坂御弓奉行への転勤を命じた。それでも行動は改まらなかったので、ついに役職を解任され小普請入り差控えとなってしまった。

重蔵は自らの「武功之形見」とするため、滝野川（北区）に甲冑姿の石像を作ったが、これも「分不相応」と非難の材料になった。そして事件は出奔していた富蔵が家に戻って間もなく（文政9年5月）起こったのである。

琵琶湖畔で　重蔵を護送する籠は翌27年（文政10）2月5日大溝藩江戸上屋敷を出ると、19日大溝（滋賀県高島市）に到着、甲冑姿石像（北区正受院）そのまま陣屋内の獄舎に幽閉された。



甲冑姿石像（北区正受院）

重蔵は「多くの書物を読み、藩の子弟を集めて学問を勧め、時に経史（中国古典）を講義した」と旧大溝藩士は伝えている（『近藤正斎全集』）。近江地方の植物図鑑『江州本草』30巻の編纂も重蔵の仕事と伝わる。2年後の6月9日病死、7月16日幕府の検死が済んで琵琶湖を望む地に埋葬された。享年59。

名誉回復へ　10年後、徳川家治50回忌に近藤家の改易は解かれ、さらに1860年（万延元）には重蔵自身に恩赦があって分部家が墓石を建立、法名「自休院俊峯玄逸禅定門」が贈られた。

八丈島の富蔵は1880年（明治13）2月に赦免、10月20日八丈島を出帆、大溝で念願の墓参を果たした。明治政府は日露戦争から6年後の1911年（明治44）8月、重蔵に正五位を追贈した。

司馬遼太郎は『街道をゆく37本郷界隈』で重蔵を「生涯、私利をおもわなかった。ひたすら公に終始した。その〝公〟は、近代国民国家のそれに通じていたが、幕藩体制の〝公〟とはくいちがっていた……」とし、「近代をひきよせた江戸時代人」のひとりにかぞえている。（了）

伊藤　宏

１０月末会員数　２５６名	就業実人員　１４９名	就業率　58%

会員入退会状況（10月分）

入会者　よろしくお願いします
　男性1名
退会者　お疲れさまでした
　男性2名

～交通安全～

夕方暗くなるのが早くなってきました。早めに点灯して視界を確保しましょう。



就業相談のお知らせ　（要予約）

日時　12月15日（火）午後3～5時
場所　八丈町役場第2会議室
申込　お電話ください☎ 2－4666

上記の日時の場合は予約が必要ですが、何かありましたら随時事務局までご連絡ください。

手作り作品展開催

１１月１７日（火）９時から
　１９日（木）１４時まで
八丈町民ギャラリーにて作品展を開催します。
ぜひご来場ください。

事務局より　来月の配分金支払日は、１２月１５日（火）です。
システムの都合により１１時以降の振込になります。
ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。



……・……・……・……・……・……・……・……・……・……

会員クラウドサービスについて

現在システムの更新およびセキュリティ対策のため、委託先において緊急メンテナンスをしておりサービスを停止しております。

ご不便をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

公式ホームページもぜひご覧ください。



※会報には１年間の配分金振込予定日も掲載しております。
ご活用ください。
　３月発行号　：　年度予定分
　９月発行号　：　後期予定分